

□ 製品仕様

製 品 名		ドクターフォネット ネオ No.188Ⅲ		
寸 法	全 長	約 710 mm		
	重 量	約 250g		
材 質	本 体	チェストピース	ステンレス	
		シャフト	アルミニウム	
		チューブ	PVC	
		耳管 (パイプ)	ステンレス	
	標 準 装 着 品	サスペンデッド型ディスクセット [M]		
		サスペンデッド型ディスク [M]	ステンレス	
		サスペンデッド型 ダイヤフラムM	外周リング部	ポリウレタン
			中央膜部	ガラスエポキシ
		サスペンデッド型 ダイヤフラムSS	外周リング部	ポリウレタン
			中央膜部	ガラスエポキシ
		回転金具	アルミニウム & ポリアセタール	
		ソフトイヤピース[大]	シリコンゴム	
	付 属 品	スタンダード型ディスクセット [M]		
		スタンダード型ディスク [M]	ステンレス	
		リング [M]	ポリアセタール	
		スタンダード型ダイヤフラム [M]	ガラスエポキシ	
スタンダード型ディスクセット [S]				
スタンダード型ディスク [S]		ステンレス		
リング [S]		ポリアセタール		
スタンダード型ダイヤフラム [S]		ガラスエポキシ		
ソフトイヤピース[大・小]		シリコンゴム		
シーリングチップ[大・小]		PVC		
カバーリング	シリコンゴム			
一 般 的 名 称	機械式聴診器 (JMDNコード:13755000)			
ク ラ ス 分 類	クラス I			
製 造 販 売 届 出 番 号	11B2X00021188501			



Doctorphonette NEO

ドクターフォネット NEO No.188Ⅲ

取扱説明書

□ 安全のためのお願い

■ 次の注意事項をよくお読みいただき、本器を正しくご使用ください。



1. 本品は聴診専用ですので、生体音以外の音を聴かないでください。
2. 絶対に分解、改造しないでください。[故障等の原因となります。]
3. イヤピースが耳管に装着されていない場合は、使用しないでください。
[耳管の金属部分で耳を傷つけるおそれがあります。]
4. 本品を振り回さないでください。
[物的損傷及び人に傷害を加えたりするおそれがあります。]

■ ご使用の前に必ずお読みいただき、正しくご使用ください。
その後は大切に保管し、必要なとき再読してください。

製造販売業者

ケンツメディコ株式会社

本社 〒367-0206 埼玉県本庄市児玉町共栄 552 番地 1
TEL 0495-71-1001 FAX 0495-72-6716
E-MAIL: eigyo@kenzmedico.co.jp
http://www.kenzmedico.co.jp



ケンツメディコ
ホームページ

2021.03.02 1188H501

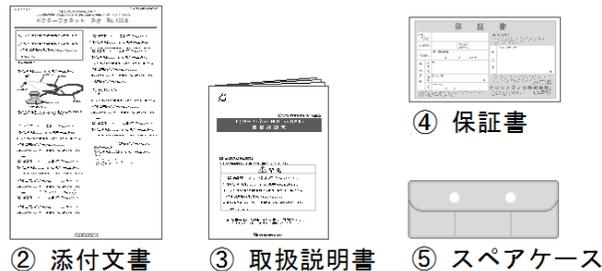
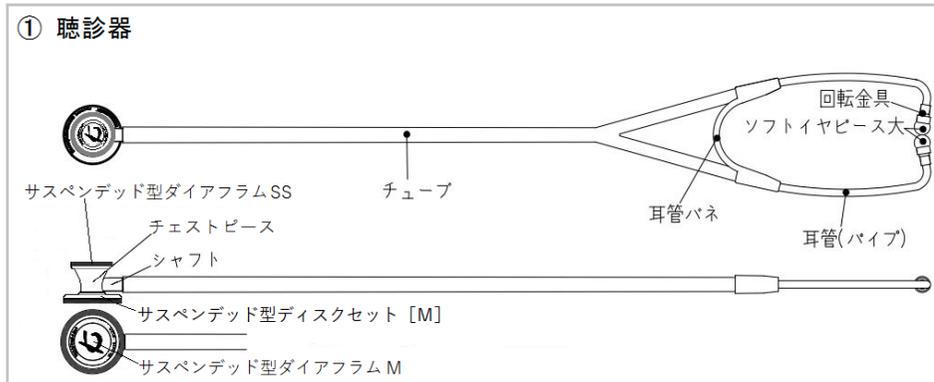
 KENZMEDICO

□ 製品の概要

製品内容

聴診器、交換用付属品、文書にて構成されています。

ドクターフォネットNEO No.188Ⅲ外観図



※No.188ⅢはCポケット未使用です

ドクターフォネット ネオ No.188Ⅲ	
① 聴診器	サスペンデッド型ディスクセット [M] サスペンデッド型ダイアフラム SS 回転金具・ソフトイヤピース[大] を初期装着しています
② 添付文書	
③ 取扱説明書	(本説明書)
④ 保証書	
⑤ スペアケース	
A	スタンダード型ディスクセット [S]
B	スタンダード型ディスクセット [M]
C	※
D	ソフトイヤピース [小] (2個)
E	ソフトイヤピース [大] (2個)
F	カバーリング
G	シーリングチップ [小] (2個)
H	シーリングチップ [大] (2個)
I	交換マニュアル (シーリングチップ)

④各種ダイアフラムの特徴

3種類のディスクに取付けているダイアフラムにはそれぞれの用途に応じた特徴があります。下記を参考にして最適なディスクの選択を行ってください。

サスペンデッド型ダイアフラム

リングと樹脂で一体形状にしたサスペンデッド型ダイアフラム面の肌押し当てる力を変えることで低周波と高周波の両方の聴診が可能です。

弱く押し当てると低周波が聴き取りやすく、強く押し当てると高周波が聴き取りやすくなります。

【サスペンデッド型ダイアフラムの使用方法】

5Pの“③ディスクの交換”でサスペンデッド型ディスクセット [M] を取り付けてください。

小児を聴診する場合は4Pの“②サスペンデッド型ダイアフラムSSの交換”でチェストピースにサスペンデッド型ダイアフラムSSを取付け、聴診面を切換えてご使用ください。

※ご購入時はチェストピース上側にはサスペンデッド型ダイアフラムSS、下側のディスクはサスペンデッド型ディスクセット [M] を標準装着しています。

スタンダード型ダイアフラム

スタンダード型ディスクセット [M・S] のダイアフラム面は、スタンダード型ダイアフラムをリングでディスクに固定した構造をしており、高周波の音を聴診する事に特化しております。押し当てる強さに関係なく常に高周波の音が聴診出来ます。

【スタンダード型ダイアフラムの使用方法】

5Pの“③ディスクの交換”でスタンダード型ディスクセット [M] 又は [S] を取り付けてください。

小児を聴診する場合はスタンダード型ディスクセット [S] を選択してください。

③ディスクの交換

6Pの“④各種ダイヤフラムの特徴”を参考にして、用途に合わせて3種類のディスクを選択・交換してご使用ください。

【ディスクの着脱方法】



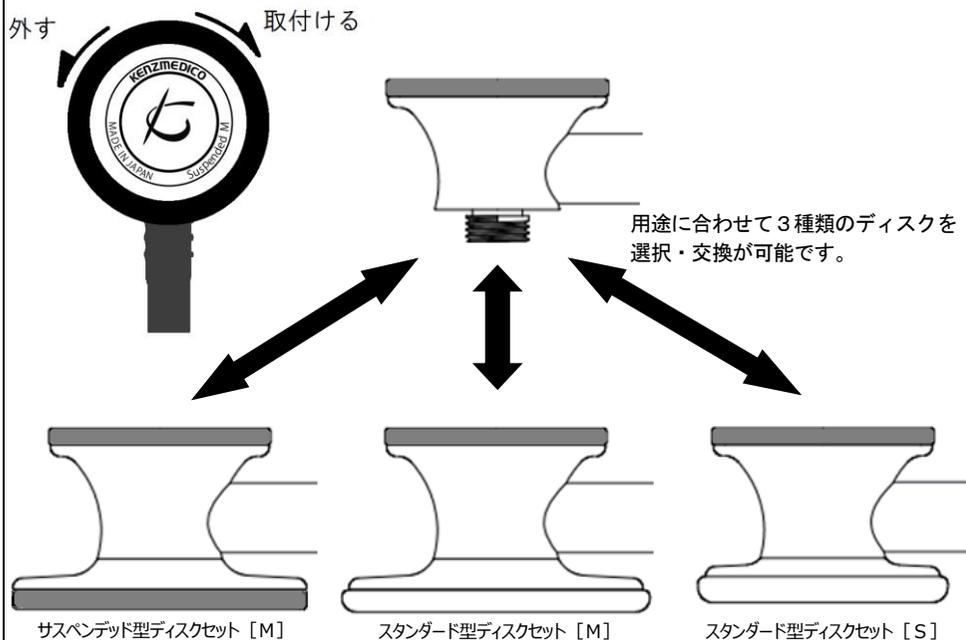
【動画】

ディスクとチェストピース本体はネジ構造になっておりディスクの交換が可能です。ディスクの交換時に、ディスクはダイヤフラムを傷めないように全体を軽く掴みチェストピース本体を掴んで、ディスクを回して交換してください。



ディスクの識別方法

サスペンデッド型ディスクセット [M] は **Suspended M** と刻印
 スタンダード型ディスクセット [M] は **Standard M** と刻印
 スタンダード型ディスクセット [S] は **Standard S** と刻印



用途に合わせて3種類のディスクを選択・交換が可能です。

サスペンデッド型ディスクセット [M]

スタンダード型ディスクセット [M]

スタンダード型ディスクセット [S]

□ ご使用にあたって

1. 本器を使用する際には、取扱い、操作方法を熟知してからご使用ください。
2. 保管についての注意点
 - * 水のかかる所、直射日光の当たる所、ほこりの多い所、湿度の高い所、極端に高温や低温になる所、衝撃・振動を受ける所、化学薬品の保管場所やガスの発生する所は避けてください。
 - * チューブを折り曲げたまま長時間放置しないでください。チューブの寿命が短くなります。
 - * 耳管、チューブ、チェストピースの音道の中に異物が入らないように注意してください。故障の原因になります。
 - * チューブは皮脂等の影響で硬化が促進されます。保管条件によっては1年程度のご使用でチューブが硬くなる場合がありますので、ご使用後は付着物をよく拭き取ってください。
3. 使用前の注意点
 - * 耳管を無理に広げたり、握りつぶしたりしないでください。耳管バネが折れる原因になります。
 - * 耳管バネが折れた場合、聴診上の不都合が生じたり、人体に傷害を加えるおそれがありますので使用を中止してください。
 - * 本器を落とす等、衝撃を加えないでください。
4. 故障したときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。
 スタンダード型ディスクセット[M・S]につきましては、ダイヤフラムを固定しているリングの取外しが困難です。
 ダイヤフラムの交換等で取り外したい場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。
5. 専用部品以外は取り付けしないでください。
6. 本体が汚れた時は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた水に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを落とし、そのあと乾いた布で空拭きしてください。
7. ご使用后、耳管を外す際は、イヤピースが外れないよう気をつけてください。

□ ご使用上の注意

1. チェストピース（ダイヤフラム面）を叩くなど衝撃を加えないでください。ダイヤフラムを傷めたり耳管を装着している場合は耳に障害をきたす恐れがあります。
2. 性能を十分に活用するために各パーツの取付けが緩んでいないことを確認してください。緩んでいる場合は確実に装着してください。
3. ダイヤフラム、リング、イヤピース等に傷がある場合は使用しないでください。皮膚を傷つけるおそれがあります。
4. 耳管パイプ、チューブ、チェストピースの音道の中に異物が入らないよう注意してください。故障の原因になります。

□ ご使用方法

1. 準備

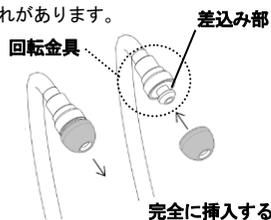
① 耳孔にあったイヤピースの選択

イヤピースの交換方法につきましては下図をご参照ください。

【ソフトイヤピースの着脱方法】

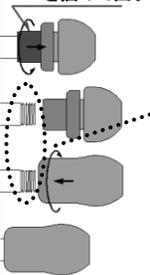
ソフトイヤピースを交換する時は回転金具の差込み部に奥まで完全に挿入してください。

※挿入が不完全だと使用中に脱落するおそれがあります。



【シーリングチップへの交換方法】

ここを掴んで回す



【動画】

シーリングチップへの交換方法

左図の指す回転金具の部分を掴んで反時計方向に回転させ耳管から取り外します。

※耳管のネジ部に気を付けてください。肌を傷つける恐れがあります。

耳管のネジ部にシーリングチップを押し当てながら奥までしっかり締め込みます。

※押しながらネジを回さないでシーリングチップのネジが摩耗して使用中の脱落原因になります。 ※奥までしっかり締め込まないとネジが緩んで使用中に脱落の原因になります。

② 耳管を適正角度に調節

耳管は下図のように角度調節ができます。

イヤピースの音道穴を耳肌で塞がないように耳孔の方向になるよう耳管を回して調節してください。耳の形状は個人差及び左右差が大きく適正に調節することが大切です。

調節する角度は前方に 18° 位が標準です。

【動画】

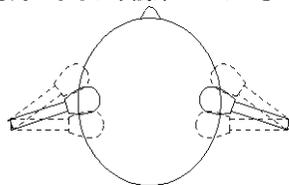
耳管の角度調整

【動画】

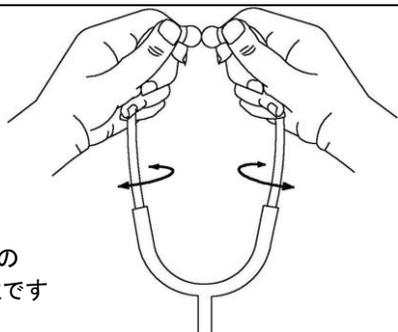
パネの圧着加減調節

【耳管の取扱い】

右図のように耳管は角度調節ができます。イヤピースの音道穴を耳肌で塞がないように耳孔の方向になるよう調節してください。



※一般的に人の耳孔の標準角度は 18° 位です

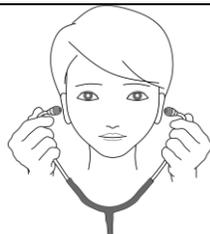


③ 耳管の装着

【耳管の装着方法】

右図のように耳管は左右同時に広げて装着してください。耳管パネなどに余計な負担が加わりません。

前方に引くようにして外すことはお止めください。イヤピースが脱落又は破損したり、耳肌を擦って傷つけるなどのおそれがあります。

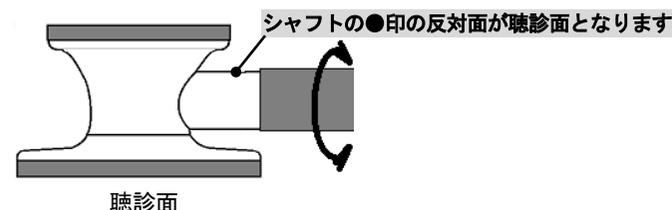


2. 聴診

耳管を装着し、聴診面の選択切換をして聴診部位に当て、静かに集中して聴診します。

【聴診面の切換え】

シャフトを回転させて聴診面の上下を切換えることができます。シャフトの●印の反対側で聴診が行えます。



3. カバーリング及びサスペンデッド型ダイアフラム SS の交換、ディスクの交換

本器のチェストピースはサスペンデッド型ダイアフラム SS と付属のカバーリングが選択使用できます。また、ダイアフラム面も 3 種類のディスク (※) を用途に合わせて交換出来る構造を持っています。

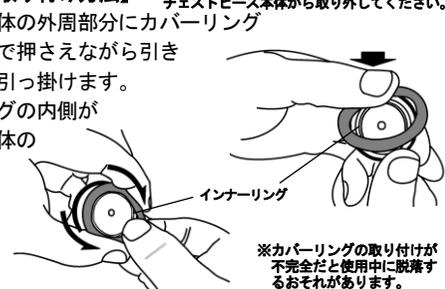
(※) 本項目に表記しているディスクとはサスペンデッド型ディスクセット [M] 及び、スタンダード型ディスクセット [M・S] の総称です。

① カバーリングの交換

【カバーリングの取り付け方法】

チェストピース本体の外周部分にカバーリングを引っ掛けて親指で押さえながら引き伸ばして反対側に引っ掛けます。最後にカバーリングの内側がチェストピース本体のインナーリング外側の溝に完全に収まるように押し込んでください。

※先にサスペンデッド型ダイアフラム SS をチェストピース本体から取り外してください。



※カバーリングの取り付けが不完全だと使用中に脱落するおそれがあります。

【カバーリングの取り外し方法】

チェストピース本体をしっかり押さえながらカバーリングを外側へめくるようにして外します。



② サスペンデッド型ダイアフラム SS の交換

【サスペンデッド型ダイアフラム SS の取り外し方法】

チェストピース本体とダイアフラム外周リング部の接続部分から外側へめくるように外します。



【サスペンデッド型ダイアフラム SS の取り付け方法】

チェストピース本体の外周凸部にダイアフラム外周部の凹部一箇所を指で軽く押し込みます。

押し込んだ所から左右に少しずつ二本の指で軽く押しながらスライドさせてチェストピース本体と外周リング部が完全に密着するように取り付けてください。

